

日本情報経営学会

2020 年度第 1 回理事会 議事次第

日時：2020 年 7 月 4 日(土) 16:45-18:45

場所：オンライン（ZOOM）にて開催

議題

【審議事項】

1. 各種委員会提案審議事項
2. 2019 年度決算
3. 2020 年度予算
4. 入退会者（会勢報告）
5. その他

【報告事項】

1. 会務全般報告（会長）
2. 第 80 回全国大会（拓殖大学/オンライン）報告
3. 第 81 回全国大会準備状況報告
4. APCIM2020 準備状況報告
5. 各種委員会活動報告
6. 支部活動報告
7. その他

会長より（会務全般報告・第 80 回全国大会挨拶）

第 16 期会長：上田泰

このたび第 16 期の会長を務めることになりました成蹊大学の上田泰と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。ご承知のように、今回の役員選出につきましては、コロナウイルス感染拡大の防止の必要性から、理事会での選挙などをすべてメールやオンラインで実施するという異例な状況となりましたことで、この間の経緯につきまして、改めてこの場でご報告をさせていただくことが望ましいと考えております。

従来から本学会におきましては、理事会改選の 3 月下旬に、今回であれば第 15 期理事会での審議や報告が行われた後に、第 16 期理事会が開催されて会長選挙、副会長と支部長の指名、常任理事の選挙が行われてきました。しかし、すでにウイルス感染拡大を防止する必要性が明らかになった 3 月上旬より前会長の村田先生を中心に、対面での理事会開催が望ましくないと判断し、すべてオンラインで実施することにいたしました。まず、3 月中旬より第 16 期理事による投票をオンラインで行い、3 月 23 日に会長として上田が選出されました。日本情報経営学会役員選任細則第 5 条によれば、理事会の「投票総数の過半数を得た候補者を会長に選任する」とありますが、投票総数はこの要件を満たしておりました。

続きまして、私から、同細則第 6 条「～副会長の選任は、理事会の議を経て、会長が行う」に従いまして、副会長として専修大学の内野明先生と古賀広志先生の 2 名および各支部の支部長の推薦を行い、3 月 27 日に理事会として承認を得ることができました。その後、同細則第 8 条「理事会において会長、副会長、支部長を除いた理事の中より、常任理事を選任する」に従いまして、常任理事の選挙がブロック別にオンラインで行われ、3 月 30 日に決定いたしました。

それと並行して、理事会では会長推薦理事や監事も選出され、承認を受けました。本来ならば、これらの役職者につきましては、本学会会則第 12 条から第 16 条に従いまして、会員総会におきまして承認を得ることになっておりますが、会員総会が開催できないことから、4 月になり、前会長の村田先生より、会員の皆さんに承認を求めるメールが流されました。このプロセスおよび承認事項のいずれに関しましても、特段の反対がなかったことで、これにより会員総会での承認が得られたものと解釈させていただきました。

以上のように、今回の役員に関しては、大変に異例の形式ではありますが、本学会の会則や役員選任細則の要件に従ったプロセスで選出されたものであります。本日ご出席の先生方には改めてこの場でも承認をお願いできれば幸いに存じております。

さて、1979 年にオフィス・オートメーション学会として発足した当学会も発足から 40 年が経過いたしました。今回の全国大会はそれを記念する大会でもあり、その記念大会に相応しい方々にご講演をいただくことになっております。

まず、特別講演は、北見工業大学の藤井先生と、エヴィクサー社の瀧川様をお願いしております。藤井先生は、あとでご紹介もあるかと思いますが、長年にわたって日立製作所に勤めておられ、大手企業の立場からデジタル化社会に向けた情報戦略についてご紹介くださると期待しております。また、瀧川様からは、2004 年にご自身が設立されたエヴィクサー株式会社での実績を中心に、同社の社是である「誰もやらないことが誰にもやれないことになる。実りあるアウトプットを創出する」から技術シーズからの SDGs 時代のニーズや市場の創生に関する実績についてご紹介くださることになっております。

次に、基調講演として、大阪学院大学／大阪市立大学の太田先生と、名古屋大学の涌田先生のご講演を予定しております。太田先生のご発表は、情報経営の分野の研究視座を再考するという大変に興味深いものです。予稿集を読ませていただきましたが、特に最後の若手への提言は、若手ではない私などにも大変に勉強になると思いました。また、涌田先生は、ご承知のように長年、学会誌の編集に

携わってこられました。今日は、J-Stage のアクセスデータから日本情報経営学会誌の利用状況を分析した研究について興味深いご報告をいただくことになっています。全国大会と同様に、学会誌の発行は学会活動の要であり、この学会誌の論文がどのように利用されているのかを知ることは、学会の人間にとっても極めて重要なことであると考えております。

また、今日は学会奨励賞の受賞者として浜松先生にもベンチャー企業の情報戦略に関する記念講演をお願いしております。

本日の大会で自由論題の口頭発表が実現しなかったのは大変に残念ではありますが、予稿集を読ませていただくと、限られた紙幅ではありますが、記念大会に相応しい、素晴らしい研究が数多く発表されています。ぜひ先生方もお読みいただき、必要であれば著者の方々にメール等で連絡し、口頭発表ならば可能であった学術的な交流をしていただければと存じております。

コロナウイルスの感染拡大により、世界中の人々の自由な移動や活動は妨げられてきております。しかし、今回の事態をきっかけに我々が学んだこともあると思います。それは、やはりオンライン・コミュニケーションのメリットやデメリットについて、経験として意識できたことだと思います。情報経営にかかわる研究者として、我々は、テレワークやオンライン会議、さらにはオンライン授業などについては、頭では理解していたつもりでしたが、それでもなかなか実際にその状況に置かれていなかった方も少なくないのではないかと思います。しかし、実際に、多くの大学ではオンラインで授業をすることになり、また、今日の学会もそうですが、オンラインでのミーティングを開催することになり、このようなオンラインでの集まりは極めて身近なものとなりました。

たとえば、この数か月の個人的な印象ですが、オンラインでの授業では、チャット等でより積極的に質問をするようになった学生もいれば、ビデオオフで参加したまま、どこかに行ってしまう学生もいます。言い換えると、授業のオンライン化は、真面目な学生をより真面目にさせ、不真面目な学生をより不真面目にさせる効果があるように感じております。オンライン下では自分以外の他者の実在感が乏しくなることで、より自分らしく振舞う傾向が強まった結果だとは思いますが、このような効果は、頭の中では分かっている、実際にオンライン授業をやってみなければ実感できなかったものだと思います。おそらく今回の事態をきっかけとして、多くの新しい発見があり、また、その発見から多くの新しい研究が生まれてくると考えられます。

もちろん、コロナ問題は一刻も早く終息してほしいものではありますが、この状況における社会生活の実態をより認識し、さらに、その社会に対して有用な提言を行うという点で、日本情報経営学会の果たす役割は非常に大きなものとなると確信しております。このような状況ではありますが、先生方のご研究がますます進み、今後とも本学会を盛り上げていただけることを願っております。最後になりましたが、本大会の開催にあたりまして、実行委員長の松岡先生をはじめ、大会委員会の先生方には大変にお世話になり、ありがとうございました。異例の形式ではありますが、素晴らしい大会となることを祈念しております。以上、冒頭の挨拶とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

2020年7月4日

日本情報経営学会 (JSIM)

2019年度 会計報告 (予算書・決算書 / 2020年度予算書) 【単位:円】 【案】

【収支報告書】自2019年4月1日 至2020年3月31日

自2020年4月1日 至2021年3月31日

【収入の部】科目	2019年度予算額	2019年度決算額
前期繰越金	10,326,333	10,326,333
個人会員会費	5,000,000	4,590,000
購読会員会費	400,000	267,070
賛助会員会費	100,000	0
受取利息	1,000	916
雑収入	50,000	153,000
収入合計	15,877,333	15,337,319

2020年度予算額	備考
7,333,457	※賛助会員は現在 いません。 ※雑収入は第79 回全国大会から の入金。
5,000,000	
400,000	
100,000	
1,000	
50,000	
12,884,457	

【支出の部】科目	2019年度予算額	2019年度決算額
大会開催費	1,600,000	1,600,000
大会予稿集補助金	600,000	0
国際大会費	500,000	186,416
支部活動費	1,300,000	700,000
プロジェクト費	1,500,000	1,200,000
研究成果作成費	500,000	0
学会賞費	300,000	0
学会誌印刷費	4,000,000	2,869,856
学会誌発送費	500,000	294,280
会議費	700,000	247,887
委員会運営費	100,000	0
事務費	700,000	644,061
通信費	100,000	104,423
諸会費	150,000	80,000
雑費	200,000	76,939
予備費	1,000,000	0
次期繰越金	2,127,333	7,333,457
支出合計	15,877,333	15,337,319

2020年度予算額	備考
1,600,000	○大会開催費は 各80万円。 ○支部活動費は関 東40万、関西 30万円、北海 道・中部・九州は 20万円。 ○プロジェクト費 は各30万円。 (5件まで) ※請求はお早め に お願いします。 (請求期限厳守) 3月20日到着分 まで。文書郵送の み。領収書等原本添 付。メール不可。 ※収支報告書の提 出をお願いします。 (各支部、各プ ロジェクト)
200,000	
500,000	
1,300,000	
1,500,000	
500,000	
200,000	
4,000,000	
500,000	
500,000	
100,000	
700,000	
200,000	
150,000	
100,000	
500,000	
334,457	
12,884,457	

【貸借対照表】2020年3月31日現在

【資産の部】	金額	【基本金及び負債の部】	金額	備考
普通預金	7,968,368	基本金	11,600,000	
振替預金	965,089			
定期預金	10,000,000	次期繰越金	7,333,457	
合計	18,933,457	合計	18,933,457	

【財産明細】

(普通預金) 三井住友銀行	4,699,462円	(振替預金) ゆうちょ銀行	965,089円
ゆうちょ銀行	877,410円	(定期預金) 三井住友銀行	10,000,000円
購読会員通帳	2,391,496円	(全国大会振替預金) ゆうちょ銀行	0円

上記のとおりご報告いたします。

2020年5月12日

会計担当幹事

中原昌裕

日本情報経営学会監査報告書

私どもは、日本情報経営学会の監査にあたり、会計担当幹事より説明を聴取するとともに、提出された下記の会計帳簿及び証憑書類等を調査いたしました。

1. 第40期（自平成31年4月1日 至令和2年3月31日）の収支
決算書及び貸借対照表

監査の結果、私どもは上記の収支決算書及び貸借対照表が適正なものであると認め、ご報告いたします。
また業務監査も同時に実施した結果、適正に処理されているものと認め、あわせてご報告いたします。

以上

日本情報経営学会長 殿

2020年4月26日

監事 小倉 昇

監事 石島 隆

組織委員会

委員長：内野 明

I 報告事項

1. 組織委員会の体制

委員長 内野 明（専修大学・関東） 副委員長 五藤寿樹（名古屋学院大学・中部）

委員

上田雅幸（北海学園大学・北海道） 小川 長（尾道市立大学・関西）
奥田幸治（M& i リサーチ・関西） 小室達章（金城学院大学・中部）
高山 誠（大正大学・関東） 田中宏和（静岡大学・関東）
中西 晶（明治大学・関東） 成川忠之（東海大学・関東）
藤井 享（北見工業大学・北海道） 文 言（九州産業大学・九州）
松岡 公二（拓殖大学・関東） 山田啓一（中村学園大学・九州）

2. 活動方針

会員の維持・獲得に加えて、情報経営学会の各委員会の連携、支部活動、研究部会の活動の支援を強化する。このため、総務・大会・研究プロジェクトの委員長に委員の兼務をお願いした。また、各支部のバランスを考えつつ、関東・九州の支部長にも委員をお願いし、全体で14名の委員構成とした。

II. 審議事項

なし

編集委員会

委員長：古賀広志

I 報告事項

1. 編集委員会の体制

委員長	古賀 広志 (関西大学)	副委員長	向原 強 (北海道情報大学)
委員			
	加納 郁也 (兵庫県立大学)		古澤 和行 (愛知学院大学)
	佐々木 宏 (立教大学)		長坂 悦敬 (甲南大学)
	西村 友幸 (小樽商科大学)		林 幹人 (愛知学院大学)
	弘中 史子 (中京大学)		柳原 佐智子 (富山大学)
	由良 憲二 (電気通信大学)		涌田 幸宏 (名古屋大学)
	小江 茂徳 (九州工業大学)		高木 修一 (富山大学)
	宮辻 渉 (広島経済大学)		吉野 直人 (松山大学)
幹事	中井 秀樹 (大阪成蹊大学)		

2. 学会誌の進捗状況

40 卷 1・2 号	特集「価値評価研究」	5 月 30 日発刊
40 卷 3 号	特集「空間概念の拡張とコンテキスト転換」	校正中
40 卷 4 号	特集「インダストリー4.0」	入稿作業中
41 卷 1 号	特集「医療情報」	準備中
41 卷 2 号	特集「ブロックチェーン」	準備中
41 卷 3 号	特集「オープンデータの活用」	準備中
41 卷 4 号	特集「リスクと情報」	準備中
42 卷 1 号	特集「サイエンス・イノベーション」	準備中
英文誌	年度内に発刊を予定	

このほかに、ポストコロナ特集の企画を検討しています。オンラインやテレワークでいろいろ働き方やオフィスが変わりそうなので「テレワーク関係」、新しい働き方として広く「DX」、また「組織の失敗」などが候補としてあげられています。

3. 40周年記念号

全国大会、国際会議の一覧、学会誌総目次などを中心に今年度中に発刊できるように準備します。

4. その他

II 審議事項

1. 投稿申込書の書式の変更

別添のように、会費納入状況の記載欄をもうけることを提案します。

2. 投稿規定

第1条(投稿資格)

日本情報経営学会会員は、学会誌『日本情報経営学会誌』に情報経営に関連する領域の研究成果を投稿することができる。ただし、投稿時点での請求済み年度までの年会費会費の未納がないこととする。また、日本情報経営学会会員ならびに編集委員会が特に認めた者は、学会誌『日本情報経営学会誌』の特集テーマに合致した研究成果を投稿することができる。

第7条(投稿論文の内容)

(途中省略)

(b)他著作物からの引用投稿する原稿以外の著作物からの引用は、出典および引用箇所を明記すること。また、図表など引用に許諾が必要な場合は、投稿者自身が出版社などから許諾を得ること。

3. 投稿要領の変更

投稿論文の体裁

(b)用紙および頁設定、図表 原稿の執筆に当たっては・・・(中略)・・・本文、注、参考文献、図表をすべて含めて、学会誌掲載頁数で6～12頁を標準の長さとする。編集委員会からの指示が特にない限り、学会誌掲載頁数を厳守すること。ただし、一般投稿については、編集委員会が認める場合には、学会誌掲載頁数で16頁まで可とする。超過頁数については、著者が12頁以内の最終原稿を提出した場合でも、本学会誌の形式に編集後に超過した場合には、その増加分の掲載料金を請求するものとする。また、特集論文についての掲載頁数は編集委員会で別途定める。なお、超過料金は、超過頁(一般投稿の場合は13頁目)以降の超過頁数×■万円とする。

投稿の方法・・・(中略)・・・

(a) 投稿申込書

定型の申込み用紙には、・・・(中略) ⑥会費納入状況(直近の会費納入年度を記入) ⑦和文要旨(300字程度)⑧和文キーワード(5語以内)を明記すること。ただし、請求済み年度までの会費が未納の場合は投稿資格を失するものとする。

以上

査読委員会

委員長:加藤みどり

I 報告事項

1. 投稿論文®の査読状況

2020年5月31日時点で2019年度以降に受け付けた投稿(依頼論文は含まない)は全24報であり、そのうち特集号への投稿論文が18報であった。この期間に投稿された研究論文®の査読状況は下記のとおりである。

投稿された研究論文®の現状

現状	一般投稿論文	特集投稿論文
新規投稿申込	8	18
査読中	1	0
採択(決定ないし掲載済)	5	15
不採択(2名以上のD判定)	2	3
不受理(査読せず返却)	2	0
再投稿待ちないし投稿取り下へ	1	0

また2019年度投稿論文の査読およびコーディネーターをご担当いただいたのは、以下の先生方である。この場を借りて深く御礼申し上げます。(順不同、敬称略)

伊佐田文彦	稲垣京輔	稲村昌南	入江信一郎
上杉志朗	上田 泰	上西聡子	内野 明
岡 照二	浦野充洋	江夏幾多郎	岡田華奈
岡田仁志	岡本紀明	金森絵里	川村尚也
上林憲雄	北田皓嗣	栗木 契	古賀広志
古澤和之	酒井雅裕	佐藤 修	澤登千恵
島田裕次	高木俊雄	高橋勅徳	寺畑正英
遠山 暁	中井秀樹	長坂康史	中寫道靖
中西 晶	成川忠之	西村孝史	林 幹人
福井 誠	堀口真司	松嶋 登	水越康介
宮尾 学	八鍬幸信	柳田義継	柳原佐智子
山内 祐	吉川晃史	吉田孟史	吉野直人
涌田幸宏	澤邊紀生		

II 審議事項

なし

以上

大会委員会

委員長：成川忠之

I 報告事項

1. 会員委員会の体制

委員長 成川 忠之（東海大学） 副委員長 酒井 雅裕（北海道情報大学）

委員

小川 長（尾道市立大学）

古賀 広志（関西大学）

境 章（熊本学園大学）

島田 裕次（東洋大学）

野間 圭介（龍谷大学）

松岡 公二（拓殖大学）

松野 成悟（宇部工業高等専門学校） 柳田 義継（横浜商科大学）

2. 全国大会の開催予定

・2020 年度春季

第 80 回全国大会 2020 年 7 月 4 日 オンライン開催

実行委員長 松岡 公二（拓殖大学）

・会長挨拶 上田 泰（成蹊大学）

・特別講演 藤井 享（北見工業大学） 瀧川 淳（エヴィクサー株式会社）

・基調講演 太田 雅晴（大阪学院大学） 涌田 幸宏（名古屋大学）

・学会賞受賞者講演 浜松 翔平（成蹊大学）

・2020 年秋季大会

休止

2020 年に「APCIM2020」が台湾で開催されるため、秋季全国大会は休止と、2019 年秋季大会の理事会にて決まりました。

・2021 年春季以降

未定

3. 全国大会予稿集の J-Stage に公開

80 回大会以降大会の予稿は原則として J-Stage に公開されます。

詳しくは各全国大会および国際大会の情報をご参照ください

II 審議事項

なし

以上

日本経営情報学会 第 80 回 全国大会実施報告

1. 事業名: 日本経営情報学会 第 80 回 全国大会
2. 統一論題: 「情報経営の課題 - 対象・方法・展望 -」
3. 開催日時: 2020 年(令和 2 年)7月4日(土)
4. 開催方法: 自由論題, 特定自由論題, 院生報告 予稿集発行
特別講演, 基調講演, 学会賞受賞者講演 オンライン開催(Zoom)
5. 主催: 日本経営情報学会 80 回全国大会実行委員会
実行委員長 松岡 公二(拓殖大学)
6. 発表数: 41 件

特別講演	2 件
基調講演	2 件
特定自由論題	7 件(2 テーマ)
自由論題	28 件*
院生報告	2 件

* 当初申し込み 36 件。6 件の取り下げ。
7. 若手研究発表賞(YIA, Young Investigator Award)、大学院生研究発表奨励賞(JIA, Junior Investigator Award)
中止
8. 大会予稿集は学会 HP で公開後、J-STAGE にても公開
9. 開催経緯
 - 2019 年 12 月 15 日
第 80 回全国大会を拓殖大学にて 2019 年 5 月 9 日～10 日に開催を告知
 - 2020 年 4 月 1 日
新型コロナウイルス感染症のため、大会開催を 7 月 3 日～4 日に延期
 - 2020 年 6 月 5 日
一般自由論題、特定自由論題の会場での発表の中止を告知
 - 2020 年 6 月 6 日
7 月 4 日にオンラインにて特別講演, 基調講演, 学会賞受賞講演の実施を告知
大会予稿集は従来の冊子体様の pdf を作成し大会ホームページで公開後、J-STAGE に掲載する予定であることを告知
大会参加費は無料とすること告知

日本情報経営学会 第80回 全国大会

2020年7月4日(土)

統一論題

「情報経営の課題 ー対象・方法・展望ー」

オンライン開催 大会プログラム

■会長挨拶

上田 泰(成蹊大学) 13:00

■特別講演

「大手情報企業におけるIT/ICTやパラダイム転換への取り組み
姿勢と、ベンチャー企業の取り組み」

1. 「デジタル化社会実現に向けた大手情報企業の戦略領域」

藤井 享(北見工業大学) 13:15

2. 「技術シーズから探るSDGs時代のニーズ・市場創生」

瀧川 淳(エヴィクサー株式会社) 13:35

■基調講演

1. 「情報経営学の対象・方法・展望 ー学会のビジョン、近年の技術
動向、社会環境、研究環境からの一考察ー」

太田 雅晴(大阪学院大学) 14:30

2. 「日本情報経営学会誌の利用状況の分析
ーJ-Stageのアクセス統計データに基づいてー」

涌田 幸宏(名古屋大学) 15:15

■学会賞受賞者講演

「ベンチャー企業における情報戦略:情報活用のための交渉プロセス」

浜松 翔平(成蹊大学) 16:00

■理事会

16:45

研究プロジェクト委員会

委員長：小川 長

I 報告事項

・第16期研究プロジェクト委員会の委員が以下の通り決定しました。

役職	氏名	所属
委員長	小川 長	尾道市立大学
副委員長	朴 修賢	追手門学院大学
	井戸田 博樹	近畿大学
	稲村 昌南	大阪成蹊大学
	上杉 志朗	松山大学
	税所 哲郎	国土館大学
	武村 泰宏	大阪芸術大学
	長坂 康史	広島工業大学
	成川 忠之	東海大学
	松嶋 登	神戸大学
	村田 潔	明治大学
	涌田 幸宏	名古屋大学
幹事	崔 宇	追手門学院大学
特別顧問	関口 恭毅	関口情報経営研究所

II 審議事項

特になし

III その他

・現在進行中の研究プロジェクトの進捗に関する懸念について

現在、下表の4つのプロジェクトが進行中ですが、以下の点について新型コロナウイルスの影響があるのではないかと懸念されます。

開始年度	テーマ名	主査/ 幹事	氏名	所属	開始時期	終了予定 時期	研究 期間
2018年度	AI人工物の監理	主査	山崎 由香里	成蹊大学	2020/4/1	2022/3/31	2年
		幹事	内野 明	専修大学			
2020年度	第4次産業革命と創造情報経営	主査	東邦 仁虎	東京理科大学	2020/4/1	2023/3/31	3年
		幹事	成川 忠之	東海大学			
2020年度	データ駆動型社会におけるシミュレーション	主査	野村淳一	星城大学	2020/4/1	2023/3/31	3年
		幹事	三輪冠奈	名古屋学院大学			
2019年度	情報教育での21世紀型能力育成研究会	主査	浅井 宗海	中央学院大学	2019/4/1	2021/3/31	2年
		幹事	中井 秀樹	大阪成蹊大学			

Q. 研究プロジェクトの進行自体に影響が出ていないか？

Y. そのまま研究を継続→その場合、オブリゲーションはどうなるのか？

N. 研究期間の延長を認めるのか否か？→延長を認める場合、新規募集は行うのか？

学会賞委員会

委員長：村田 潔

I 報告事項（2019 年度活動報告）

1. 学会賞の選定

- (a) 論文賞：該当作品無し
- (b) 論文奨励賞（涌田宏昭賞）
受賞者：浜松翔平（成蹊大学）
受賞論文：「ベンチャー企業における情報戦略：情報活用のための交渉プロセス」，日本情報経営学会誌第 37 巻第 4 号，83-93 頁，2018 年.
- (c) 著作賞：該当作品無し
- (d) 著作奨励賞：該当作品無し

II 審議事項

1. 2020 年度活動計画

- (a) 委員会構成
委員長：村田潔（明治大学），副委員長：山田啓一（中村学園大学）
委員：上林憲雄（神戸大学），稲村昌南（大阪成蹊大学），折戸洋子（愛媛大学）
本部幹事：山崎竜弥（明治大学）
- (b) 2020 年度論文賞，論文奨励賞（涌田宏昭賞），著作賞，著作奨励賞の募集と選定
 - 2018 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日までの 2 年間に公表・発刊されたもの
 - 2020 年 6 月 30 日までに会員の推薦または自薦により手続き
 - 6 月 25 日現在で著作賞に 1 件応募あり
- (c) 2021 年度論文賞，論文奨励賞（涌田宏昭賞），著作賞，著作奨励賞の募集
 - 2019 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日までの 2 年間に公表・発刊されたもの
 - 2020 年 6 月 30 日までに会員の推薦または自薦により手続き

備考：

- 論文賞：日本情報経営学会誌に掲載された論文を対象
- 論文奨励賞（涌田宏昭賞）：日本情報経営学会誌に掲載された論文のうち，将来有望な若手研究会員が執筆したものを対象（初投稿時点で〈共著の場合第一著者が〉35 歳以下または大学院生であること）
- 著作賞：会員が執筆した著作を対象
- 著作奨励賞：将来有望な若手研究会員が単著により執筆したものを対象とする（出版時点で 35 歳以下または大学院生であること）
- 論文賞・論文奨励賞（涌田宏昭賞）・著作賞が共著の場合は，ファーストオーサーが会員でかつ会員が過半数を占める場合に限る

国際委員会

委員長：岡田 仁志

I 報告事項

2020 年国際大会 APCIM の開催

- (1) 2020 国際大会 APCIM は、台湾の高雄での開催とする。
- (2) 高雄での開催にあたっては、国立高雄大学の管理学院を本拠とする台湾社会ネットワーク学会（Taiwanese Association for Social Networks - TASN）との提携開催とする。
- (3) 高雄での開催の可否については、2020 年 8 月下旬までに決定する。
この時期まで、会場予約のキャンセル料は発生しない。

II 審議事項

2020 年国際大会 APCIM の開催

- (1) 2020 国際大会 APCIM の参加費については、現地開催の可否が確定したのち台湾社会ネットワーク学会（Taiwanese Association for Social Networks - TASN）との協議により決定する。

III 参考資料

APCIM2020 (TASN)

<http://tasn.org.tw/apcim2020/>

APCIM2020 (JSIM)

<http://www.jsim.gr.jp/apcim2020/>

以上

総務委員会

委員長：中西 晶

I 報告事項

・第16期総務委員会の委員・幹事

委員長：中西 晶（明治大学）

副委員長：柳原 佐智子（富山大学）

委員：福田 康典（明治大学）、柳田 義継（横浜商科大学）、山崎 由香里（成蹊大学）

幹事：近藤光（千葉経済大学）、高木俊雄（昭和女子大学）、寺本直城（拓殖大学）、

浜松翔平（成蹊大学）、吉見憲二（成蹊大学）

学会事務局：山崎竜弥（明治大学商学研究科村田潔研究室）

II 審議事項

なし

2019年度 支部活動報告

【北海道支部】2回

第1回研究会

運営責任者 向原 強

日時：2019年10月5日（土）午後1:30～午後4:00

[於：ユビキタス協創広場 U-cala]

「情報経営研究の課題」

古賀 広志氏（関西大学）

「オープンデータを活用した教育の課題」

向原 強氏（北海道情報大学）

参加者：12名

第2回研究会

運営責任者 向原 強

日時：2020年2月15日（土）午後1:30～午後4:00

[於：北海道情報大学・札幌サテライト]

「美瑛市ふるさとテレワーク『びーさて』の取り組み」

吉田 翔平氏（ポートヘフナー株式会社）

「ライフスタイル選択としてのテレワークと組織市民行動」

柳原 佐智子氏（富山大学）

参加者：10名

【関東・東北支部】5回（うち後援2回）

第1回研究会

運営責任者 内野 明

日時：2019年5月11日（土）午後2時～午後4時30分

会場：専修大学神田校舎7号館7階772教室

テーマ：“The Effect of Reciprocity on Mobile Wallet Intention:A Study of Filipino Consumers”

発表者：Dr. Donald L. Amoroso (Auburn University at Montgomery, USA)

言語：英語

テーマ：「モバイル決済普及の文献研究」

発表者：佐藤 修（東京経済大学経営学部）

参加者：7名

経営関連学会講演会

運営責任者 植木 英雄

日時：2019年6月15日（土）午後2時10分～午後4時00分

会場：明治大学 駿河台研究棟 2階 第9会議室

テーマ：「SDGs時代の統合思考とESG投資—価値共創の創出を目指して—」

講師：長谷川直哉氏（法政大学人間環境学部・大学院公共政策研究科教授）

参加者：80名

第2回研究会

運営責任者 内野 明

日時：2019年9月21日（土）午後2時～午後5時

会場：専修大学神田校舎7号館7階772教室

テーマ：MIT スローン経営大学院 AI ビジネスコースの一部紹介

Artificial Intelligence: Implications for Business Strategy

報告者：広瀬 潔（HIT 経営コンサルティング事務所）

参加者：15名

経営関連学会第12回公開シンポジウム

運営責任者 植木 英雄

日時：2019年11月30日（土）午後1時50分～午後5時20分

場所：専修大学 神田キャンパス 1号館301教室

全体テーマ：「デジタル変革時代にいかに適応するか！ —DX推進の課題と新プラットフォーム創りの展開—」

論 題：DX推進指標と「2025年の崖」問題への対応

田辺雄史（経済産業省 情報産業課 ソフトウェア・情報サービス戦略室長）

論 題：人財とテクノロジーの融合で地に足の着いたイノベーションを起こす！

西畑智博（日本航空(株) 常務執行役員 イノベーション推進本部長）

論 題：顧客体験を演出する次世代型デジタル変革スイート等の事例・展開

渡辺宣彦氏（ペガジャパン(株) 社長）

パネル討論会

論 題：ネットワークでつなぐ価値共創のプラットフォーム創り

司 会：國領二郎（慶応義塾大学常任理事・教授）

参加者：200名

第3回研究会

運営責任者 高桑宗右エ門

日時：2020年2月1日(土) 午後1時～午後5時

場所：中央大学後楽園キャンパス 6701教室

【第1部】東アジアにおけるIoT・インダストリー4.0・第4次産業革命

題目：Data fusion for the fourth industrial revolution

Shuo-Yan Chou (国立台湾科技大学 特別招聘教授・IoTイノベーションセンター長)

題目：Application of ToT, PI and IoT, AI management model in 4.0 industry context;

Case study of manufacturing plants in Vietnam

Nguyen Dang Minh (ベトナム国家大学 経済経営学部教授)

題目：How “Made in China 2025” drives the R&D investments: Evidence from China

Hu Pei (中国・西南交通大学 経済管理学院教授)

題目：Towards achievement of Society 5.0

吉村 隆 (一般社団法人 日本経済団体連合会 産業技術本部長)

【第2部】IoTの応用事例

題目：IoTインフラを活用したワークプレイスソリューション

伊藤 政彦 ((株) リコー デジタルビジネス事業本部 センシングソリューションセンター 所長

(株) スマートコムラボラトリーズ 代表取締役社長)

参加者：35名

【中部支部】2回(うち延期1回)

第1回研究会(合同部会)

運営責任者 飯島 康道

日時：2019年6月22日(土) 午後1:30～午後6:00 [於：愛知学院大学名城公園キャンパスAGALS 7階多目的室1, 2]

「認知地図と起業者活動」

水野 清 氏 (愛知学泉大学)

「女性の昇進意欲に関する「ロールモデル論」の理論的検討」

砂口 文兵 氏 (椋山女学園大学)

「人事評価における「測定」の可能性と実態」

江夏 幾多郎 氏 (名古屋大学)

「ダイバーシティ時代の職場成長の牽引要件」

安藤 史江 氏 (南山大学)

参加者：49名

共催：組織学会・日本経営学会

第2回研究会(延期)

運営責任者 飯島 康道

日時：2020年3月21日(土) 午後2:30～予定 [於：愛知学院大学名城公園キャンパスAGALS 7階5階2513教室]

「ケーススタディに「型」はあるのか」

テキストマイニングを活用したトップジャーナルの日米比較」

土橋 力也 氏 (愛知学院大学)

「量の変化と質の変化～ゲーム業界を例として～」

内藤 勲 氏 (愛知学院大学)

参加者：延期のため、参加者なし

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、延期とした。

【関西支部】6回

第262回研究会&支部総会

運営責任者 中原翔

日時：2019年4月14日(日) 午後1:30～午後5:30

場所：大阪産業大学梅田サテライトキャンパス レクチャールームA (大阪駅前第3ビル19階)

「標準化を通じたイノベーションを成立させるための共有技術認識フレーム創出」

深見嘉明氏 (立教大学大学院ビジネスデザイン研究科)

参加者：16名

第263回研究会

運営責任者 福本俊樹

日時：2019年5月11日(土) 午後2:30～午後5:00

場所：同志社女子大学 今出川キャンパス 純正館4階 S401教室

「企業家の人工物としての宗教建築：不完全性を維持する伝統的仏教寺院のマネジメント」

小川智健氏 (近畿大学 非常勤講師)

「実践理論にもとづく会計情報の多様な活用に関する一考察：企業再生支援の事例」

吉川晃史氏 (関西学院大学)、澤邊紀生氏 (京都大学)

参加者：8名

日 時：2019 年 9 月 7 日(土) 午後 2:00～午後 5:00

場 所：龍谷大学深草キャンパス紫英館 2 階 東第二会議室

“**Digital First** Strategy: Value Creation and Capture in Digital Economy”

Youngin Yoo 氏 (Case Western Reserve University)

“Foreign Ownership and Domestic Supply Base of Manufacturing Plants: implications for Performance under Different Environmental Conditions”

PRAKASH JAGAT SINGH 氏 (The University of Melbourne)

参加者：10 名

第 265 回研究会 (企業見学会)

運営責任者 奥田幸治、武村泰宏

日 時：2019 年 10 月 31 日(木) 午後 3:00～午後 5:30

場 所：ソフトウェア・サービス株式会社 大阪本店

3:00 1 階ロビー集合

3:05 ソフトウェア・サービス様ご挨拶

3:10 見学前の事前説明 (会社概要や社屋の説明など)

3:40 見学

4:30 ソフトウェア・サービス様報告

- ・ 医療情報システム現状と未来～電子カルテが始まって 25 年、そして、これからの 10 年に求められるもの
- ・ 医療情報業界の将来性～独自性と標準化の 2 面性の中での生き残り策

質疑応答

5:25 諸連絡

5:30 解散

参加者：14 名

第 266 回研究会 (有馬先生ご退官記念講演)

運営責任者 宮辻渉、長坂康司

日 時：2019 年 12 月 21 日(土) 午後 1:30～午後 5:00

場 所：広島経済大学立町キャンパス 132 教室

「雨ニモマケズ、風ニモマケズ…そういうものに広島はなりたい～防災、復興、DX：三位一体の取組～」

桑原義幸氏 (広島県情報戦略総括監 DX 推進本部 副本部長)

「弊社における防災対策～平成 30 年 7 月豪雨の反省と学び～」

菫蒲田裕子氏 (マツダ株式会社)

「情報経営の視点で考える地域防災と地縁組織の電子化」

有馬昌宏氏 (兵庫県立大学名誉教授)

参加者：23 名

第 267 回研究会

運営責任者 松嶋登、王亦軒

日 時：2020 年 2 月 11 日(火・祝) 午後 2:00～午後 5:00

場 所：神戸大学 大会議室

「知識共有に関する現場理論の生成」

蒋博文氏 (函館大学)、王亦軒氏 (大阪市立大学)

「(経営) 概念の思想史：現代経営学への批判と提言」

中原翔氏 (大阪産業大学)

参加者：14 名

【九州支部】2 回

第 84 回支部研究会及び支部総会

運営責任者 五藤 寿樹

日 時：2019 年 5 月 11 日(土)

場 所：西南学院大学学術研究所 第 1 会議室

(1) 支部研究会 (*印は報告者、敬称略)

「戦略と時間的展望」

*林 徹 (長崎大学)

「フィリピンにおける中間貧困層の自立支援—Go Negosyo と Mentor Me Program」

*山田啓一 (中村学園大学)

(2) 支部通常総会

「平成 30 年度 支部活動報告」

「平成 30 年度 支部費・研究補助費収支報告」

「令和元年度 支部活動計画および収支計画」

(3) その他

参加者：5名，委任状4名

第85回支部研究会

運営責任者 五藤 寿樹

日時：2019年10月26日(土)

場所：西南学院大学学術研究所 第3会議室

(1) 支部研究会 (*印は報告者、敬称略)

「欠損値の補完と時系列分析」

*田中 謙一郎 (西南学院大学)

「SDG1と企業家教育」

*山田啓一 (中村学園大学)

(2) その他

参加者：5名，委任状2名

以上

日本情報経営学会 2020 年度第 1 回理事会 会勢報告 (作成日：2020 年 7 月 4 日)

日本情報経営学会 2020 年度第 1 回理事会 会勢報告 (作成日：2020 年 7 月 4 日)

I. 会員数変動内訳 (2020 年 3 月 28 日 から 2020 年 7 月 4 日 までの期間)

	正会員	学生会員	外国正会員	購読会員	賛助会員	名誉会員	シニア会員	計
新入会員	0	2	0	0	0	0	0	2
退会会員	4	0	0	0	0	0	0	4

II. 新入会員リスト ※会長承認済み

(正会員：0 名)

(学生会員：2 名)

会員番号	氏名	所属先名称
56945	田中 夕香子	富山大学 大学院経済学研究科 企業経営専攻
56947	木村 富也	慶應義塾大学 システムデザイン・マネジメント研究科

III. 退会会員リスト ※会長承認済み

(正会員：4 名)

会員番号	氏名	所属先名称
55101	福田 馨	九州産業大学 経営学部
56360	饗庭 正樹	パナソニック株式会社
56911	林 徹	長崎大学 経済学部
56584	山本 修一郎	名古屋大学 大学院情報科学研究科

(学生会員：0 名)

IV. 会員種別変更 ※会長承認済み

(学生会員→正会員：1 名)

会員番号	氏名	所属先名称
56912	阿部 健人	立正大学 経営学部

(正会員→シニア会員：1 名)

会員番号	氏名	所属先名称
55841	穂積 和子	神奈川大学 経営学部

V. 会員数構成 (2020 年 7 月 4 日現在)

	正会員	学生会員	外国正会員	購読会員	賛助会員	名誉会員	シニア会員	計
会員数	482	74	0	31	0	13	3	603

注 1) 会員数は、住所不明者も含めた人数である。

注 2) 購読会員数は、寄贈も含めた人数である。

VI. 会費納入状況 (2020年7月2日現在)

年度	入金予定額	入金金額	未納入金額	回収率
2019年度	¥4,845,000	¥3,995,000	¥850,000	82.46%
2018年度	¥4,510,000	¥4,175,000	¥335,000	92.57%
2017年度	¥4,265,000	¥4,070,000	¥195,000	95.43%
合計	¥13,620,000	¥12,240,000	¥1,380,000	89.87%

注1) 正会員、学生会員、外国正会員に関する会費納入状況である。

注2) 各年度の会費予定額、入金金額、および未納入金額は、退会会員分を控除した金額である。

(2019年度は2019年8月26日に年会費請求書類発送)

(例年、春の全国大会開催1~2ヵ月後を目途に年会費請求書類送付)

VII. 自然退会候補者 (2020年7月2日現在)

* 近日中に、事務局より自然退会候補者に入金催促のメールを送付。2020年7月末までに入金無しの場合は、自然退会者として次回理事会にて報告予定。

会員番号	氏名	会員番号	氏名
54602	田中 二郎	56717	宮城 郁美
54648	辻 新六	56731	徳田 美智
55319	村松 幹男	56742	高橋 勅徳
56227	梶 大輔	56755	櫻井 雄太
56307	関 哲人	56756	井上 一成
56343	遠藤 雄一	56760	桂田 竜祐
56351	西郡 晃雅	56789	山下 耕介
56361	千代原 亮一	56792	出野 利文
56682	森川 明弘	56815	舘岡 康雄
56690	島田 善規	56831	董 舒楊
56710	高田 朝子		

参考:日本情報経営学会第16期各種委員会委員(幹事を除く、敬称略)

1. 組織委員会

委員長:内野 明(専修大学) **副委員長:**五藤 寿樹(名古屋学院大学)

上田 雅幸(北海学園大学)、小川 長(尾道市立大学)、奥田 幸治(M&Iサーチ)、
小室 達章(金城学院大学)、高山 誠(大正大学)、田中 宏和(静岡大学)、
中西 晶(明治大学)、成川 忠之(東海大学)、藤井 享(北見工業大学)、
文 言(九州産業大学)、松岡 公二(拓殖大学)、山田 啓一(中村学園大学)

2. 編集委員会

委員長:古賀 広志(関西大学) **副委員長:**向原 強(北海道情報大学)

加納 郁也(兵庫県立大学)、古澤 和行(愛知学院大学)、佐々木 宏(立教大学)、
長坂 悦敬(甲南大学)、西村 友幸(小樽商科大学)、林 幹人(愛知学院大学)、
弘中 史子(中京大学)、柳原 佐智子(富山大学)、由良 憲二(電気通信大学)、
涌田 幸宏(名古屋大学)

3. 査読委員会

委員長:加藤 みどり(東京経済大学)

上田 泰(成蹊大学)、内野 明(専修大学)、岡田 仁志(国立情報学研究所)、
小川 長(尾道市立大学)、中西 晶(明治大学)、成川 忠之(東海大学)、
向原 強(北海道情報大学)、村田 潔(明治大学)、柳原 佐智子(富山大学)

4. 大会委員会

委員長:成川 忠之(東海大学) **副委員長:**酒井 雅裕(北海道情報大学)

小川 長(尾道市立大学)、古賀 広志(関西大学)、境 章(熊本学園大学)、
島田 裕次(東洋大学)、野間 圭介(龍谷大学)、松岡 公二(拓殖大学)、
松野 成悟(宇部工業高等専門学校)、柳田 義継(横浜商科大学)

5. 研究プロジェクト委員会

委員長:小川 長(尾道市立大学) **副委員長:**朴 修賢(追手門学院大学)

井戸田 博樹(近畿大学)、稲村 昌南(大阪成蹊大学)、上杉 志朗(松山大学)、
税所 哲郎(国士舘大学)、武村 泰宏(大阪芸術大学)、長坂 康史(広島工業大学)、
成川 忠之(東海大学)、松嶋 登(神戸大学)、村田 潔(明治大学)

6. 学会賞委員会

委員長:村田 潔(明治大学) **副委員長:**山田 啓一(中村学園大学)

稲村 昌南(大阪成蹊大学)、太田 雅晴(大阪学院大学/大阪市立大学)、
上林 憲雄(神戸大学)

7. 国際委員会

委員長:岡田 仁志(国立情報学研究所) **副委員長:**上杉 志朗(松山大学)

上田 泰(成蹊大学)、太田 雅晴(大阪学院大学/大阪市立大学)、古賀 広志(関西大学)、
酒井 雅裕(北海道情報大学)、佐藤 修(東京経済大学)、堀内 恵(中央大学)、村田 潔(明治大学)

8. 総務委員会

委員長:中西 晶(明治大学) **副委員長:**柳原 佐智子(富山大学)

福田 康典(明治大学)、柳田 義継(横浜商科大学)、山崎 由香里(成蹊大学)